## よんまちかけ橋新聞

yonmachi kakehashi newspaper



### 今号でご紹介したお店MAP



## よんまちとは?

よんまち新聞 vol.7 2020年3月

よんまちは、中心部東地区の、四つの商店街地域が手を結んで「福山らしさ」を発信しようと、2017年の6月に 発足した「福山駅東地区4商店街連携協議会」の通称です。「きたはま通り商店街」「船町宝船会商店街」「本通 商店街」「本通船町商店街」、この4商店街は、江戸時代に作られた2つの橋、「木綿橋」と「天下橋」という橋を 共有しながら、城下町の中心地として栄えてきました。このきずなを大事にして、「地域の懸け橋、未来への懸け 橋」を合言葉に各々の個性を発信し、福山駅東地区の活性化に連携して取り組もうとしています。

今回のよんまち新聞にご協力いただいた方々 資料提供•取材協力: 神原 伸次さん (été cafe and used fashion) 笹岡 宏平さん (Jua hair) 本田 海さん (株式会社ワンダーウォール) 河相 しのぶさん (REBORN) 横山 清子さん(みずぬま) 末永 和代さん・藤沢 正宣さん (ブティックサロン ローゼ・フクヤ) 作田 英樹さん・作田 芳子さん(作田洋紙(株)・倭紙の店さくだ) 喜多村 武司さん(食堂 きたむら) 岩川美保さん(一喜一遊)



よんまち新聞は、よんまちの4つの商店街の「面白いこと・ 人」を集めたフリーペーパーです。

今回は、前回に引き続き、よんまちニューウェーブ特集。 新しいお店と昔からのお店の新旧入り交ざったよんまちの 魅力を楽しんでいただく方が増えてくれればと思います。

企画/よんまち編集部

編集•写真撮影/安原幸雄(株式会社安原楽器) イラスト/木村桃子

※前号6号の訂正 5ページ目の「まちゼミ座談会」で、全国まちゼミサミットの参加人数を4名と表記しておりましたが、正しくは3名でした。

↑笹岡 宏平さん 旅での言葉の壁は重要なものではない。「ここはどこですか、今何時ですか、右、左、まっすぐとか、その辺だけ言えれ ばしたいことは叶う。顔をみながら一生懸命感じることで、あったかい交わりが生まれる。それがおもろいんですよ。」

とい大地を行く夢を 、ない大地を行く夢を のは18歳の時。絵を描、 好きで画家も考えたが、経 がいたでででする。 がいたが、経 経った。 かそうゆう ト笹岡さん。 に乗って、なぜか上半身裸で、。夢でもよく見ます。友達とそうゆう場所に惹かれるんで、せい絶景を求めて歩く。なぜ、地とか絶景を求めて歩く。なぜ、 どもを連れて家族でカナダ、った時、店を閉め、奥さんと口町で美容室を始めて10年 うことで、 会えたヘア ペルー、ボ ルー、ボリビア、メルー、ボリビア、メ。まずは旅の話に。 、アースタ、帰国を待 会を描くのが になった。」 髪の世界へ。 将来を





改装もほぼ自分で行った。「お金をかけるところと、かけないところはハッキリしてます。棚とかも自分で絵でおこして、とりあえず 作ってみる。最初は無茶苦茶だったけど、腕が上がって来てますよ。文明が滅びても、生きていけるタイプってよく言われます。」



Jua hair

福山市笠岡町4-1 2F TEL: 090-1356-7321(予約制) 水~土曜日は10:00~何時まででもOK 日曜日は9:00の予約のみ 月・火曜休み

イクルを作りたい。繁忙 休みをあらかじめ決めて や的に働いて、1ヶ月施 が理想です。1週間のう が理想です。1週間のう が理想です。1週間のう が理想です。1週間のう がまた、やりたいことをす て決めてね。」 「1年に1ヶ月が、そこにはメが、そこにはメが、ることはより 次は海の見えるとこにしようなと思ってたら、昔の仲間がいとこがあるじゃん!(笑)」ターがあるじゃん!(笑)」ターがあるじゃん!(笑)」ターがあるじゃん!(笑)」ターがあるじゃん。繁忙期と、そこにはメリハリのあるラフスタイルの考え方がある。カーを作りたい。繁忙期と関カルを作りたい。繁忙期と関カをあらかじめ決めて、働くみをあらかじめ決めて、働くみをあらかじめ決めて、働くのに働いて、1ヶ月旅するのは関いて、1ヶ月旅するのは関いて、1ヶ月旅するのまった。 一き方かってい。 たいこと

## # h # 5 = 1 - d I - d NEW WAVE

「若い頃は本通りでよく遊んで 「若い頃は本通りでよく遊んで まる場所でした。アンダーグラウ まる場所でした。アンダーグラウ まる場所でした。アンダーグラウ まる場所を作りたいなと。若い子た ちが気軽に集まり、新しい文化 ちが気軽に集まり、新しい文化 ちが気軽に集まり、新しい文化 ちが気軽に集まり、新しい文化 したいなと思っています。」 東京、広島で働いたのち、ここで店長の神原さんは福山出身。ちりのフリースペースです。」物を片手に話をしたり、勉強し 一。型にはまらない自由な空間。に置かれた机とイス、カウンタ 店を始めたのは特別な理由がある。 いété (エテ) さんは、 「若い子たちがパ 「ストに資スペーストに資スペーストに資スペーストにする作家や、 -のお店。 ッときて飲み 古着の販売 広い空間 して間もな

↓店の入口は、下町感のある裏道にある。 あえて王道の表通りにしなかったのは、 アンダーグラウンドな文化を作る場所として 勝負している気がする。



↓神原さんが東京などで仕入れた COMME des GARÇONS(コム ・デ・ギャルソン)の販売をしている。



↑古着は誰でも着れるデザインのものから

個性のある服までバランスよく。

若者が集まる

こ思ってたんでよってっている。

 $\mathcal{O}$ 



フリースペース。机とイスが置かれたシン プルな空間で、若者や学生が新しいカ ルチャーを生み出す拠点を目指す。 2Fに事務所をもつアイアン作家の作品 も展示販売している。



←神原 伸次 さん

「僕らが20代の頃って、この辺 りで過ごしてて、面白い人たちが 多かった。それを求めて若い人 が集まることで商店街に活気を 生みたい。」

本通船町 été (エテ) cafe and used fashion 福山市船町5-10 TEL: 084-975-2932

open15:00~

② 2019ete1203hiver

MAP

コーディネートし施印象を左右する壁の涂切を扱うおなどの塗材を扱うおない。

(株)ワンダ

## アンティークに囲まれて 4













迎え。

相さん。

のい

しが 大。 気にの が、 だいる でする ながれる

一トルズへ

の内がう

毎月行われる『のきしたマーケット』をはじめ、店内でワークショップも開催。お店での買取りや出張で査定などもしている。

本通りに昨年新しくオープンした、リボン(REBORN)さんは、アンティークや古道具を扱うお店。長年、ご主人とやってきた神辺のスローハンド・デパートメントから独立した形で、イベント出店で知った商店で、イベント出店で知った商店で、イベント出店で知った商店がり、そこでカフェ、アンテムの退職した頃、ドライブ先で見つけた神辺の空き店舗に夢が広がり、そこでカフェ、アンテムにとってここは、自分へのさんにとってここは、自分へのさんにとってここは、自分へのさんにとってここは、自分へのさを共有する人と語り合う空間。



本通商店街 REBORN (リボン)

福山市今町4-25 TEL: 084-959-2039 10:00~16:30 火曜休み MAP of reborn\_fukuyama 4

河相しのぶ さん→ お客さんが持ってきたお人形を査定中。

年新しく (REBC



## & h ₹ 5 = 1 - 7 NEW WAVE







本通商店街 WONDER WALL.Inc

株式会社ワンダーウォール 福山市笠岡町2-24 TEL: 084-959-2518 00:00~00:00 火曜休み MAP wonderwall-inc.co.jp 3





に3、ここのでいると思います。」
は細な感覚、材料の知識、空間のコーディネートを兼ね備えるからこその本田さんのお仕事。
現在、店の隣にオープンする友人の美容室のリノベーションを行っている。8月完成予定だ。
「今後は自分のお店で扱う材料のみを使ってトータルコーディネートをしたモデルハウスを作ネートをしたモデルハウスを作る。1。1 ってみたいで 今 のお店 形にな

←本田 海 さん 「日本と海外の塗料は、ツヤが違うんですよ。海外の ものは光を柔らかく反射させます。」



↑→本田さんが注目する塗材、 『MORTEX』。壁はもちろん家具 や木にも下地を選ばず塗れて、 モルタル仕上げの鉱物感を表現 できる。強度と防水性もあり、 素材を選ばない気軽さが人気。



### コーゼ・フクヤさんの 華麗なるショーウィンドウの世界



思わず立ち止まって眺めてしまうローゼ・フクヤさんのショーウィンドウ。大きなガラスの奥に広がる、華麗な世界観。一体どんな方がされてるのかなと思い、中に入ると、店長の末永和代さんとスタッフの方が温かく迎えてくれました。

「このごろは、こんなに大きなショーウィンドウは珍しいでしょう。クリスマスの時には、何年もかけて集めたものを飾ったりするんですよ。」

創業は昭和24年、戦後まもない頃、 先代の末永さんのお母さまがこの お店を始めた。女性が一人で商売 を始めるのは珍しかった時代に、大 阪に汽車で仕入れに行ったりと 発なお母様だったようです。ショウィンドウをはじめとして、店内の 雰囲気を作る素敵な小物やヌード バイなどを旅した時に集めたもの だそうです。







素敵な空間に、皆さんのお人柄も相まり、お店は、いろんな方がお話に来るサロンのような存在に。「70、80代になって女性はやっと、自分の好きなことに時間を使える。そんな方達が気軽にきて、楽しくおしゃべりする場でありたいなと思っています。」

本通商店街 ブティックサロン ローゼ・フクヤ

福山市今町4-19

TEL: 084-923-2948 MAP 9:00~18:00 日曜・祭日休み 7

店長 末永 和代さん オーナー 藤沢 正宣さん





## 文房具屋さんの おもしろし自販機!

本通のはぶ文泉堂さんの自販機がおもしろいことになってるとのウワサを耳にして、さっそく調査に! 一見、普通の自販機に見えるけど・・ 下の列が文房具になっている!

カープのボールペンや、福山をアイテムにした缶バッチやシールが入ったトートバック、メモ帳セットなど、福山らしさ溢れる文房具の自販機。文房具やさんらしい、楽しい発想ですね。

<sup>本通商店街</sup> はぶ文泉堂

福山市笠岡町4-22 TEL: 084-923-4330 10:00~18:30 MAI 定休日なし 5





## ストリートガーデンの くつろぎ空間

春も間近で、陽の光が気にないるないで、陽の光がないでるがは、大ななのみでは、かられたがないできただから、変を作られてが、気を作られていたの、現を作られていた。暖かくなるにつから光いででは、できなるが増えるできなる。

本通商店街みずぬま

福山市笠岡町4-23 MAP TEL: 084-923-2752 6

06

入り口を入ると、おでん の香り。福山ではあまり食 べられない各地のこだわり の食材を使った優しい味の 和食は、日本酒はもちろん、 ワインにもよく合います。



ワインソムリエ・利酒師でもある喜多村さん。

各地から仕入れた珍しいお酒がたくさん。



福山市笠岡町1-21 TEL: 084-999-2999 MAIL:wine-sake@syokukita.com www.shokukita.com MAP 9 18:00頃~翌4:00(L.O3:00) 水曜休み(不定休)

人と話すのが大好きな代

表の岩川さんは、メニュー の考案から料理、オープン

時の店の改装も自分の手で 行ったというパワフルな女 性。テレビでカープの観戦 もできるのでカープファン

の方もぜひ!



よんまち新店よろしくお願いします! 近年、開店されたお店を順々にご紹介します。



## きた t

# 和食と日本酒、ワインという、新しい組み合わせの食堂ですきたはま通りにオープンした食堂 きたむらさん。 5

## 食堂

# よんまち人に会いに行く

晚話

本通船町商店街 作田洋紙(株) 倭紙の店さくだ 作田 英樹 さん 作田 芳子 さん

福山市船町8-24 TEL: 084-922-1155

もちる。

ここは、作田洋紅柱の地。先代が昭和社を置きながら、本社を置きながら、本社を置きながら、本社を置きながら、本 本通船町にある、 『倭紙の店さくだ』 を楽しんでいるばりを楽しんでいるばりを楽しんでいるばいがら和やかいで作られた干す も一からい続けての 教室に 一からスタート からスタートできる。からスタートできる。からスタートできる。から、初めての人でお話をしながら、からながら、初めての人では、通して親しまれている。 折り に感じられるおに感じられるおに感じられるおいな様子。店内に別業、今では作本通船町では作本通船町では本 に作品づれをみんれ 折り訪問 通 ŧ

店は思いの詰まった大切な場所。
芳子さん、お二人にとって、おんと、お店の代表である奥様の
取締役会長である作田英樹さ 芳子さんはこう語る。 店は思いの詰まった大 方子さん、お二人にと 商売やるぞりてしまいま 「戦後は、 戦争が終 このあたり したけどね。 わ のあ った!さ でいま という という という でいま でいま

折り紙教室を始めるきっかけ となった般若の折り紙。一枚 の紙から様々な造形を生む折 り紙の奥深さに魅せられた。

した。その話を聞きながら、お商売って楽しいなあって。人に喜んでいただくために、ここで何ができるだろうと思い、和紙を使った教室を始めました。」現在、芳子さんは国際折り紙を使った教室を始めました。」が、老人大学などでも折り紙をおえている。2016年の伊勢なえている。2016年の伊勢なんでいる。2016年の伊勢なんでは、娘さんと共に折った連鶴が各国の首脳に届に折った連鶴が各国の首脳に届の折り紙文化を伝えている。



料理は全部お持ち帰りもできる。 人気メニューは、黒豚しゃぶしゃぶ。

JOYふなまち 一喜一遊 (代表:岩川美保さん) 福山市船町1-21 TEL: 084-921-0123

(フードL.O.24:00/ドリンクL.O.25:00) 10

18:00~26:00 月曜休み





スポーツ観戦しながら、お若い女性の店長が頑張る、 お友達とご家族と、気軽に入れる居酒屋さ、ジョイ船町の一喜一遊さん。

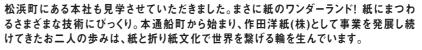
喜

遊





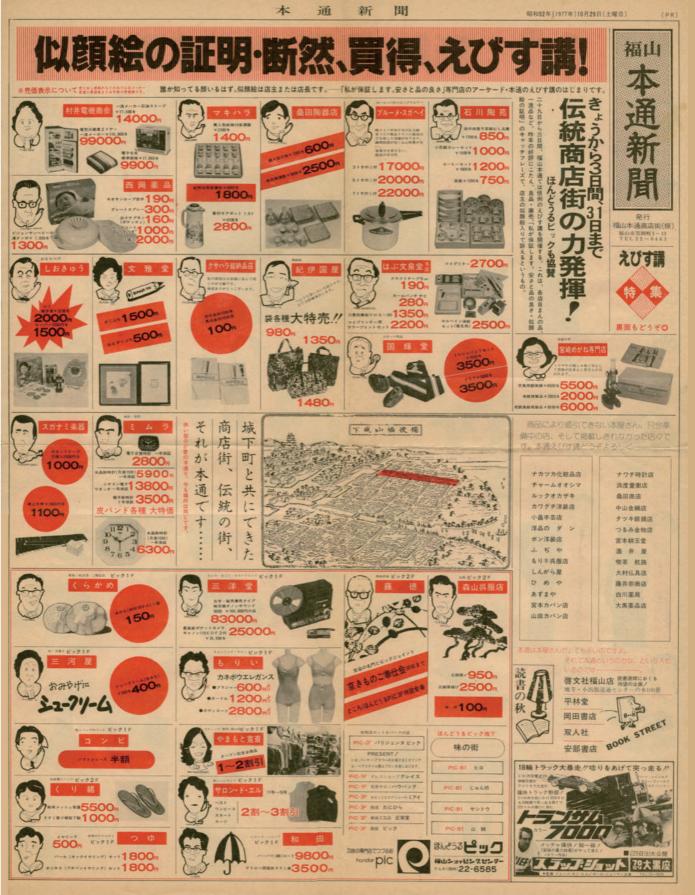






08





昭和52年の10月29日、商店街をあげての3日間のセールが行われていたようです。似顔絵入りで今でもおなじみの店や、懐かしい顔も発見できます。

懐かしのシリーズ 福山本通新聞 昭和52年10月29日(土)